

ルナシックい施工要領

ルナシックい塗装方法（ルナファーザー・チップス下地の場合）

標準施工面積 55㎡/袋
(中毛ローラー2回塗り)

【塗装準備】

- ルナファーザーにシーラーは不要。直接ローラーで塗装します。
- ルナファーザーを張った糊が、十分乾いているか確認します。(12時間以上)
- 入り隅がカットされ、ボンドコークを入れてあるか確認します。
- 湿度85%以上、または気温5℃以下での施工は避けます。
- シックいの粉を200gほど取り分け、補修用として密封袋に入れ保管します。
- ルナファーザー・チップスには、マスキングテープが貼れません。

【塗装方法】

- 作業中や作業終了後は、風通しを良くして自然乾燥を促します。
- ルナシックい10kgに清水11ℓの割合で、ハンドミキサーを使い攪拌します。
 - ◆ 塗装の3時間以上前に、10分ほどかけて攪拌し、塗装前に再度攪拌します。
 - ◆ 水は必ず計量し、初めに10ℓの水で混ぜ合わせ、残りは後で加えます。
 - ◆ 冬の低温時は、20℃程度のぬるま湯を使い、攪拌後も低温に注意します。
- はじめに、入り隅などローラーが届かない部分を、腰の強い刷毛で塗ります。
- 全体の塗装は、中毛のローラーにたっぷり取り均一に塗りのばします。
 - ◆ 手早く塗りのばし、一回目は多少ムラが出て構いません。
- 一回目塗装後2時間ほどあけ、表面が乾いてから二回目の仕上げ塗装をします。
 - ◆ 2時間過ぎても乾かない場合は、仕上げは翌日以降に延期します。
- 二回目塗装をたっぷり取り、手早く塗りのばします。
 - ◆ ローラーは強く押さえないようにころがし、0.3mm程度の塗り厚に仕上げます。

【施工後の準備】

- 入り隅や枠回りの部分では、施工後隙間やひびわれが発生する場合があります。補修はボンドコークで塞いでから、シックいをタッチアップします。

ルナシックいメンテナンス要領

補修が必要な場合は、状況に応じて以下要領でメンテナンスを行ってください。

軽微な汚れ	<ul style="list-style-type: none"> ・少しの汚れは、水を含ませたメラミンスポンジで軽くこすります。 ※白いメラミンスポンジは、家庭用の掃除用品として売っています。 垂れない程度に水を絞って、軽くこするのがコツです。
色の濃い汚れ・シミ	<ul style="list-style-type: none"> ・スポンジ掛けでシミが残ったら、ルナシックいを乾いた布に付けて塗装します。 ・色が濃いシミは、ルナシックいを塗るだけでは消えませんが、汚れをカッターやサンドペーパーで削り取ってから、部分塗装します。 ・ごくまれに、チップ(木片)からアクが出る場合があります。変色部分をカッターで削り取ってから、部分塗装します。 ※補修の塗装は、塗料を付けた布をたたくようにして、少しずつ何回か塗り重ねるのがコツです。 ※中毛ローラーを使うと、よりきれいに仕上がります。
キズ・隙間	<ul style="list-style-type: none"> ・キズでへこんだ場合は、ルナシックいを上塗りして埋めます。 ・入り隅や枠廻りに出来た隙間は、ボンドコークで塞いでから塗装します。
再塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に汚れてきた場合は、そのまま塗り重ねが出来ます。 ・再塗装は3回程度可能で、その間は壁紙を張り替える必要はありません。 ・再塗装には、水性エマルジョン塗料を塗ることが出来ます。 (水性塗料は気に入った色が選べ、塗り重ねが7～8回行えます)

※ 残ったルナシックいの粉は補修用として、密閉容器に入れて保存して下さい。(補修時に必要量を水にといて使います)